

公益社団法人広陵町シルバー人材センター

令和8年度 事業計画

1. 基本方針

令和8年度我が国において政権が交代し、ようやく日本国民に寄り沿った政策がなされるような流れになり、ガソリン税廃止等経済対策も少しずつ履行され、ゆるやかに経済が良くなる兆しが見られますが、まだまだ予断は許さない状況が続いています。

このような経済状況であるため当然少子化が止まらず、人口が減少しているため労働力不足が深刻になっています。

こうしたなか、労働力を補う意味でもシルバー人材センターの役割がますます大きくなり、地域の日常生活に密着した地域社会の活性化等に寄与していくことを目的として活動してまいります。

シルバーの理念である「自主・自立・共働・共助」の事業理念を基に「安全・適正就業の推進」「就業機会の確保」「会員の増強」の確立にも努め、会員、役職員一同が一丸となってセンターの発展に取り組んでまいります。

2. 事業計画

(1) 会員の増強・就業機会の確保と育成

- ① 認知度の高い町広報誌に説明会の日程案内を毎月掲載し、説明会の参加を促進させると共に、センターHP（ホームページ）にもシルバーの概要等掲載し入会を促すよう努めます。
- ② 口コミによる入会率が高いこと、毎年度数名の実績があがっていることから会員による勧誘「いち会員ひとり運動」の推進を図り、会員数の増員に努めます。
- ③ 女性会員の入会促進を目指して女性活性化委員会と協力し女性目線の啓発活動を行います。
- ④ 月2回定期的に入会説明会を開催し、シルバーの仕組みや詳細な説明を行い入会を促進するように努めます。
- ⑤ インボイス制度による契約の変更に対応出来るようスマホでの操作等を会員に習得してもらい令和8年度中に施行出来るよう努めます。
- ⑥ 安全で長期に渡って出来る作業を提供し、少しでも長くシルバー会員として就業出来るようフォローし、退会者を抑制し会員数の安定化に努めます。

（２）安全・適正就業の推進

会員の就業は「安全就業はすべてに優先」を第一に安全に就業していただくようにすることが重要であり、安全就業に対する心構えや安全への意識の向上を呼びかけ、常に安全意識を持って就業して頂けるよう努め、「事故ゼロ」を目指します。

また、事務局もKY（危険予知）を常に意識して仕事の分別を行い未然の事故を防ぐよう心掛けます。

- ① 就業環境の安全確保を図るため、職場巡回や安全への意識啓発を継続して行い、問題点や課題を見つけ改善することで未然に事故を防ぎます。
- ② 過去の事故事例等を検証し原因を特定、会員報に掲載して情報を共有し、安全意識を高めてもらうことにより再発防止に努めます。
- ③ 安全コンサルタントによる現場への巡回指導、安全就業適正委員会が中心となつてのパトロールによる指導等により安全意識の向上を図り、事故防止を図ります。

また安全講習を年２回開催し、就業中や途上の交通事故等の防止を「事故ゼロ」を目標に安全管理に努めます。

- ④ 奈良県森林組合講師による機械の構造や使用方法の講習を行い、草刈機、チェーンソー等のメンテナンスを会員自身で出来るようにし、就業の効率化を図ります。
- ⑤ 作業前に班員全員でミーティングを行い、当日の作業における注意事項等事前に危険場所を確認し、事故を未然に防ぐよう促します。
- ⑥ シルバー人材センターの第一の目的は、会員の健康維持となっていますので、８０歳以上の方の健康診断書の提出、病気や怪我後の復帰時に診断書の提出をしていただき、自身の健康状態を把握して管理してもらえよう意識の向上を図ります。
- ⑦ ワークシェアリングによる適正就業に努めます。
- ⑧ 厚生労働省からの「適正就業ガイドライン」をもとに請負、派遣の就業形態で適正に契約するよう努めます。
形態に合わない就業は派遣事業に切替えます。
- ⑨ 「フリーランス新法」が施行され、フリーランスに位置付けられる会員が法による保護を受け、安全・安心に就業出来る環境を整備し、契約方法の見直しを行います。

（３）普及啓発の推進

シルバー事業への信頼と理解及び理念、仕組み等を広く浸透させるため、一般家庭・民間事業所等に対して事業の意義と基本的な理念及びしくみ等を周知するとともに、高齢者に対する意識啓発を行いセンターの存在意義を周知します。

- ① デジタル化に対応出来るようＨＰ（ホームページ）をリニューアルして住民や会員等誰が閲覧しても分かりやすいようにし、事業実績や写真等掲載し情報提供することで、町民や会員へセンター事業に対する理解を深めてもらえるよう努めます。
- ② 多くの町民が見ている町広報への入会説明会の案内等やチップ配布の記事の掲載、シルバーのチラシの挟み込みによるシルバーへの入会やＰＲを行います。

（４）自主財源の確保及び事業推進体制の強化

自主財源の確保はセンター運営上の基礎となるもので、皆様方のご協力のおかげでこれまでも健全な財政運営に努めてまいりましたが、今年度も安定した自主財源の確保を図ります。

- ① 公益法人として、法令に基づいた運営を適正に行い、正確かつ効率的な予算執行を行うため、経費の見直しを図ります。

（５）デジタル化の推進

インボイス、フリーランス法の影響で契約方法の見直しを行わなければならないようになっており、会員自身が準委任契約での情報閲覧をスマートフォン等の活用により出来るようにし、それに対する講習会を開催し、会員が使いこなせるよう努め、令和８年度中にシステムの活用が出来るようにします。

また、発注者の利便性を考えコンビニ決済が出来るよう努力します。

（６）職業紹介の推進

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者に対し、職業紹介を行います。

また、職業紹介事業に係る研修を定期的に受けて知識の更新、向上を図ります。

（７）ボランティア活動の促進

就業することに加え社会奉仕活動に取り組み地域社会に貢献する重要性について個々の会員の意識の啓発に努め、高齢者の社会参加の推進を図る。

- ① 「全国シルバーボランティアの日」にボランティア参加者と清掃ボランティアを行い社会参加しＰＲします。

（８）関係機関との調整

公益社団法人広陵町シルバー人材センターのあらゆる事業運営を円滑に推進するため、全国シルバー人材センター事業協会、及び奈良県シルバー人材センター協議

会との連絡を密にし、奈良県、広陵町及び各種団体との協調を図り連携の強化に努めます。